【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公開番号】特開2013-173544(P2013-173544A)
【公開日】平成25年9月5日(2013.9.5)
【年通号数】公開・登録公報2013-048
【出願番号】特願2012-38102(P2012-38102)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　81/113　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　85/68　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　71/04　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　71/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　81/06　１０２Ａ
Ｂ６５Ｄ　85/68　Ｆ
Ｂ６５Ｄ　71/04　Ｆ
Ｂ６５Ｄ　71/02　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成26年8月1日(2014.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下方に開口するように上面と側面とを有し、前記上面と前記側面との交わり部に切り欠きを有した段ボールと、
前記段ボールで被梱包物の上部を覆う際に前記段ボールと前記被梱包物の上部との間に配置されるように形成され、前記段ボールと前記被梱包物の上部との間に配置されたときに前記切り欠きに前記段ボールの内側から嵌合するように形成された突起部を有した緩衝材と、
を備え、
前記突起部は、
結束バンドで前記段ボールと前記緩衝材とを前記被梱包物に固定する際に前記結束バンドと接触するように、前記段ボールの上面よりも上方に突き出るように形成された第１突出部と、
前記結束バンドで前記段ボールと前記緩衝材とを前記被梱包物に固定する際に前記結束バンドと接触するように、前記段ボールの側面よりも側方に突き出るように形成された第２突出部と、
を備え、
前記第１突出部及び前記第２突出部の少なくとも一方は、前記結束バンドで前記段ボールと前記緩衝材とを前記被梱包物に固定する際に前記結束バンドを案内する凹部を備えた梱包装置。
【請求項２】
前記凹部は、前記第１突出部の上面と前記第２突出部の側面との交わり部の中央に曲面状の面取りを施すことにより形成された請求項１記載の梱包装置。
【請求項３】

前記凹部は、前記第１突出部の上面と前記第２突出部の側面との交わり部の中央に平面状の面取りを施すことにより形成された請求項１記載の梱包装置。

【請求項４】

前記側面は、互いに対向する１対の側面を含み、

前記切り欠きは、

前記上面と前記１対の側面の一方との交わり部に設けられた第１の切り欠き部と、

前記上面と前記１対の側面の他方との交わり部に設けられて前記上面を挟んで前記第１の切り欠き部に対向する位置に設けられた第２の切り欠き部と、

を含み、

前記突起部は、

前記第１の切り欠き部に嵌合するように形成された第１の突起部と、前記第２の切り欠き部に嵌合するように形成された第２の突起部と、

を含む請求項１記載の梱包装置。

【請求項５】

前記第１の切り欠き部と前記第２の切り欠き部の対が２対設けられている請求項４記載の梱包装置。